

10月は「3R推進月間」

「グリーン購入キャンペーン月間」です

はじめよう！ 今日からできるエコライフ

誰もが暮らしやすい環境を次の世代に残していくことは、私たちの責任であり義務です。ごみを減らし、持続発展可能な循環型社会を構築していくためのキーワードがReduce（リデュース：減らす）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再資源化）の頭文字をとった『3R』で、実践にはこの順番が大切です。

普段の買い物の中にも、地球環境のことを考えて商品などを購入する「グリーン購入」など3R推進のために実践できるさまざまなことがあります。皆さん「地球にやさしい社会」をつくる一歩を踏み出してみましよう。

まずは Reduce (減らす)



資源の消費を減らすことです

レジ袋や割り箸など無意識の消費が大量のごみを発生させる大きな原因となっています。

- ◆こまめに買い物袋を持ち歩きましょう。
 - ・マイバッグを持参して、ごみ減量のためレジ袋を断りましょう。
- ◆包装はできるだけ少ないものを選びましょう。
 - ・包装の少ない商品、過剰包装を断ることでごみを減らせます。
- ◆商品は長く使えるものを選びましょう。
 - ・流行に左右されず、丈夫で長く使える商品を買うように心がけましょう。

最後に Recycle (再資源化)

ごみの再資源化です

ごみを原材料として再生利用することです

- ◆ごみの分別をしっかり守りましょう。
 - ・ガラスびんは溶かして新たなびんに。牛乳パックはトイレットペーパーに。PETボトルは合成繊維に再資源化できるよう、可燃ごみに混じらないようにしましょう。
- ◆再生品や、資源やエネルギーを浪費しないものを選びましょう。
 - ・再生紙や再生プラスチック素材を使った商品が増えています。積極的な購入が、資源の有効利用につながります。

次は Reuse (再使用)

何回も繰り返し使うことです

- ◆繰り返し使えるものを選びましょう。
 - ・たとえばリターナブルびん、充電式の乾電池などは環境にやさしいといえます。
- ◆壊れたら修理しましょう。
 - ・電気製品のわずかな故障や少し壊れた家具ぐらひは修理して使いましょう。
- ◆リメイク・リフォームしてみましょう。
 - ・不要な服で子ども服やカバンなどを作ってみる。物を修理したり形を変えたりしながら最後まで丁寧に使いこんでいく暮らしをしましょう。

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当
☎ 6578 有線 7784

エコマーク



環境に配慮した製品につけられています。

グリーンマーク



原料に古紙を使用した製品につけられています。

省エネマーク



省エネ基準を達成している製品につけられます。

牛乳パック再利用マーク



使用済の牛乳パックを原料とした商品につけられます。

●環境マークの一例

●グリーン購入とは：製品やサービスを購入する際に環境を考慮して、必要性をよく考え、環境に与える影響ができるだけ少ないものを、環境保全に熱心な企業から、優先して購入することです。